



#ScienceHearted

飼料のDCADを マイナスに調整



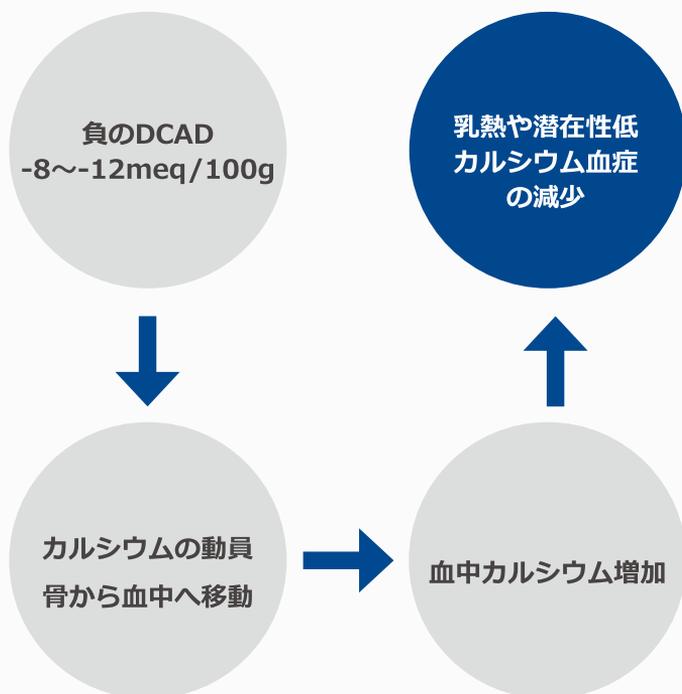
なぜ重要なのか&その方法は

DCADが適切に調整されたクローズアップ飼料を給与することは、健康的な分娩、スムーズな移行、スタートアップ期の力強い乳生産にとって重要です。

DCADは飼料中の4つのマクロミネラルのレベルを測定します: 正に帯電したカチオンのカリウムとナトリウム、負に帯電したアニオンの塩素と硫黄。これらの負に帯電した電荷を合計することで、飼料のDCAD値が決定されます。



負のDCAD飼料を分娩前に給与することで、乳熱やその他の代謝病の発生率を低下させることができます。



負のDCADレベルを達成する方法

- 1** 通常DCADミネラルにばらつきのある粗飼料や副産物飼料（木エーや糖蜜など）にナトリウム、カリウム、塩素、硫黄、マグネシウムレベルの湿式化学分析を行います。
 - ✓ 文献値が平均的DCADレベルを示す一方で、飼料原料には通常大きなばらつきがあります。湿式化学分析が飼料成分や粗飼料の正確なDCADレベルを知る唯一の方法です。
 - ✓ 水源に含まれるミネラルがDCAD値に影響を与える原因となるため、水質分析をします。
- 2** 飼料中のカリウムとナトリウムをできる限り減少させます。これだけで飼料中のDCADレベルが低下します。
- 3** 嗜好性のよい陰イオン源を飼料に追加することで、DCADレベルが乾物100gあたり-8~-12meqを達成するように調整します。

BIO-CHLORをクローズアップ飼料で給与することで負のDCADレベルが達成でき、乾物摂取量を促進します。その結果、移行期の問題に対する診断時間の削減につながります。



詳細は栄養士、獣医師、または、ARM & HAMMERの代理店へお尋ね下さい。
またウェブサイトをご覧ください。AHfoodchain.com